

令和3年度 第1回 大和市国民健康保険運営協議会 議事録

日時：令和3年8月11日（水）

※書面開催

○出席者：吉澤弘会長、堀口香奈委員、目黒裕委員、菊地慶子委員、
高野恵雄委員、楠原範之委員、近藤清志委員、渡邊幸一委員、
櫻井吉孝委員、羽深章平委員、保田弟治委員、仲戸川満男委員、
信太雄一郎委員
（13人） ※意見書提出者

○内容

- （1）令和3年度 大和市国民健康保険事業特別会計予算について
- （2）大和市国民健康保険データヘルス計画の中間評価について
- （3）令和3年度における国民健康保険制度の変更点

○質疑・意見

(1) 令和3年度 大和市国民健康保険事業特別会計予算について

<質疑>

- ①その他一般会計繰入金（赤字補填分）が令和元年度予算と令和2年度予算比では159,405千円減だったが、令和3年度は令和元年度も上回る金額となっているのは、新型コロナウイルス感染症に影響されたものと考えてよいのか。

【回答】

主に被保険者数の減等による国民健康保険税の減や、基金繰入金の減により、その他一般会計繰入金が増となりました。

- ②令和2年度予算時の被保険者数見込47,716人から今回の令和2年度決算見込では49,604人へ、世帯数も31,997世帯から33,139世帯に増加しているが、大和市国民健康保険データヘルス計画では「後期高齢者医療制度への移行や景気回復による社会保険への移行等により、国民健康保険の加入者は年々減少しています。」と記載されている。決算見込の数値の増加の要因には、新型コロナウイルス感染症の影響で移行が進まなかったということがあるのか。

【回答】

お見込のとおり、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により社会保険離脱者が増加したことから、被保険者数の決算見込が予算見込を上回ることとなりました。しかしながら決算ベースの比較では引き続き減少傾向にあります（令和元年度平均被保険者数50,425人）。

<意見>

- ①広域化が実施されて4年目になる中、保険税の値上げが行われていないことは安心したが、その他一般会計繰入金は前年度と比べ2億1000万円ほど増加している。保険税負担が大きく払いたくても払えない世帯もあり、平等割の見直しやコロナ禍の中で納付猶予を受けている世帯への（対象となる世帯も含め）きめ細かな支援を期待する。

(2) 大和市国民健康保険データヘルス計画の中間評価について

<意見>

- ①改めて生活習慣病の早期発見・予防、生活改善等の必要性を実感した。健診を受けやすい体制づくりをさらにすすめていただきたい。
- ②毎年受診率を向上させるための努力を積み重ねていることと思うし、様々な要因があることと思う。特定健診受診率は県平均受診率が少しずつ上昇しているが、大和市では年々減少傾向になっており、実態に合わせた計画の見直しも必要なのではないかとも思う。同様に特定保健指導実施率は県平均も低い受診率にとどまり、大和市の実施率は減少から微増に推移しているが、特定健診の受診率の計画見直しとあわせ、特定保健指導についてもあり方や数値目標の見直しが必要ではないかと思う。
- ③担当課による各事業への取り組みの努力が伝わった。国民健康保険医療費は減少しているものの、市全体の一人あたり医療費は増加しているとのことだが、県内19市平均よりは良い数字を維持しているのは良いことだ。改めて健康で長寿を保つという課題の難しさを痛感した。今後も更なる効果的な事業展開がされるよう期待する。
- ④特定健診受診率広報のためには現役世代（40～50歳代）及び直近社会保険離脱者等への周知の強化が急務だと思われる。検診所要時間(目安)や特定健診とがん検診が同時にセットで受診できる点を強調すべきと思う。

(3) 令和3年度における国民健康保険制度の変更点

<質疑>

- ①マイナンバーカードの健康保険証利用に関して、現在使用している健康保険証はどうなるのか。

【回答】

現在使用している健康保険証も引き続きご利用いただけます。

<意見>

- ①マイナンバーカードの健康保険証利用の件で、システムの不具合で延期になっていると聞いている。システム上の問題もあるが、個人情報（病気に関することも含め）がきちんと守られるのか、悪用されることはないか強く懸念している。